

YOKOHAMA Station City でフードドライブを実施

昨年に続き「SDGs 未来都市」横浜市の中心、横浜駅から SDGs に根差したエリア価値の向上を推進

開催期間:2023年6月17日(土)

YOKOHAMA Station City 運営協議会(会長:東日本旅客鉄道株式会社 執行役員 横浜支社長: 宮田 久嗣)は、2023年6月17日(土)に“FOOD for ALL YOKOHAMA”と題し、フードロス削減の取り組みとして、ご家庭で余っている食品を集め必要としているところへ寄付するフードドライブを、JR 横浜タワー2階アトリウムにて実施いたします。2022年度から本取り組みを実施しており、今回は2回目の開催となります。

JR 東日本グループは、事業を通じて社会的な課題を解決することで、地域社会の発展と国際目標「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に取り組んでおり、SDGs 未来都市・横浜の実現を目指す横浜市と連携し、横浜の玄関口である横浜駅でキャンペーンを実施することで、より多くの方々に SDGs の取り組みについて知っていただき、ご参加いただきたいと思います。

活動を通じて回収した食品は、当協議会会員の株式会社横浜ステーションビルから特定非営利活動法人 フードバンク横浜へ贈られ、支援が必要な方々にお届けいたします。

また当日は、「ヨコハマ3R夢！」マスコットイーオと横浜市西区のマスコットキャラクター「にしまるちゃん」が会場に登場するほか、横浜市資源循環局および西区役所主催のワークショップを開催し、お越しいただいたお客さまが楽しみながらフードロス等の環境活動について知っていただければと考えております。

JR 東日本グループは、ESG 経営を実践し、事業を通じて社会的な課題を解決することで、地域社会の発展と国際目標「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に取り組んでおります。YOKOHAMA Station City では、このキャンペーンを通じて、エリアの価値向上に取り組んでまいります。



FOOD for ALL YOKOHAMA

食品の寄付にご参加ください。

WHAT WE CAN

日時 2023年 6/17(土) 11:00→16:00

場所 JR 横浜タワー2階アトリウム

マスコットキャラクターとの撮影会や
ワークショップを同時開催!

受付可能な食品

- 未開封
- 賞味期限まで1か月以上
- 常温保存が可能

詳しくはWEBで

横浜ステーションシティ 検索

フードドライブ開催概要

開催期間: 2023年6月17日(土)

回収場所: JR横浜タワー アトリウム2階

回収時間: 11:00~16:00

概要: ご家庭で余った食品をお持ち込みください。回収後は支援の必要な方々にお届けいたします。

受付可能な食品: 賞味期限表示があり、かつ賞味期限まで1か月以上・常温保存が可能・未開封の食品

受付不可能な食品: 賞味期限が1か月未満・賞味期限表示がない・生鮮食品・アルコール類等

主催: YOKOHAMA Station City 運営協議会

共催: 横浜市資源循環局・西区役所・株式会社横浜ステーションビル

イベント・ワークショップ概要

【マスコットキャラクターイベント】

プログラム: マスコットキャラクターと一緒に記念撮影

開催時間: 11:00/13:00/15:00

各回 15分

概要: 西区マスコットキャラクター「にしまるちゃん」と「ヨコハマ3R夢！」マスコット イーオが登場して一緒に記念撮影を行います。

※混雑状況により受付制限を行います



西区マスコットキャラクター 「にしまるちゃん」 「ヨコハマ3R夢！」マスコット イーオ

【ワークショップイベント】

プログラム: お絵描きマイバッグ

開催時間: 11:00~16:00(最終受付 15:30)

概要: 6月の環境月間に合わせ、ワンウェイプラスチック削減の取組として、ご自身でお絵描きしていただくオリジナルマイバッグやマイカトラリー(サラダスプーン・フォーク)、マルチケースづくりを行います。

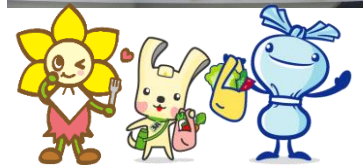
参加人数: 各50名程度とさせていただきます。(参加費無料)

※混雑状況により受付・時間制限を行います。

※数量がなくなり次第終了となります。



【イメージ】



へら星人 ミーオ

【カプセルトイに挑戦】

本会場に食品をお持ち込みいただいた方は、素敵なプレゼントが当たるカプセルトイに挑戦いただけます。

※プレゼントがなくなり次第終了となります。(カプセルトイイベント終了後も食品の受付は行います)



YOKOHAMA Station City の「持続可能な開発目標(SDGs)」への貢献について

JR 東日本グループは、ESG 経営を実践し、事業を通じて社会的な課題を解決することで、地域社会の発展と国際目標「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に取り組みます。

具体的には、「安全」が経営のトッププライオリティであることをグループ共通の理念として掲げ、すべての事業の基盤であるステークホルダーの皆さまからの「信頼」を高めるとともに、「ヒト(すべての人)の生活における『豊かさ』を起点とした社会への新たな価値の提供」に向け日々の挑戦を続けていくことで、「持続可能な社会」とグループの持続的な成長を実現していきます。

YOKOHAMA Station City は、SDGs に根差した活動を通じて、新しい価値の提供とエリア価値の向上に取り組んでまいります。なお、この度の取り組みは、SDGs における下記 4 つの目標に貢献しています。



- 目標 1 あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ
- 目標 2 飢餓をゼロに
- 目標 3 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する
- 目標 12 持続可能な消費と生産のパターンを確保する



JR 東日本グループの SDGs の達成に向けた詳細: <https://www.jreast.co.jp/company/csr/>

フードドライブとは

フードドライブとは、各家庭で使い切れない未使用食品を持ち寄り、それらをまとめてフードバンク団体や地域の福祉施設・団体などに寄贈する活動を言います。(出典 横浜市 HP)

特定非営利活動法人 フードバンク横浜

NPO 法人フードバンク横浜は 2016 年の団体設立以来、食のフードバンクでありながら同時に心のフードバンクでもありたいという理念のもと、活動を続けている地域密着型の支援団体です。

まだ食べられるにもかかわらず廃棄されてしまう食品を引き取り、福祉施設や生活困窮者等へ無料で食品を提供するなど食料支援で笑顔を増やす取り組みを実践しております。

「YOKOHAMA Station City 運営協議会」について

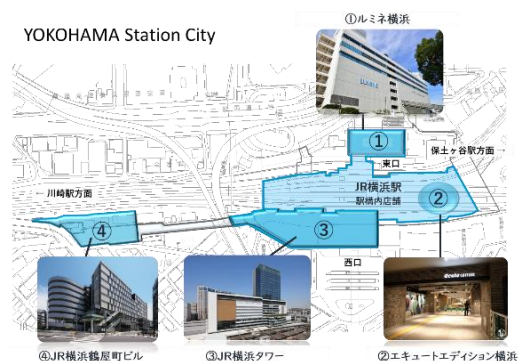
会長:宮田 久嗣(東日本旅客鉄道株式会社 執行役員 横浜支社長)

住所:神奈川県横浜市西区平沼 1-40-26

URL: <https://yokohamastationcity.com/>

「YOKOHAMA Station City」の誕生に併せて発足した、JR 東日本グループ 9 社から成る JR 横浜駅のタウンマネジメント組織です。「YOKOHAMA Station City」に関する情報発信・PRをはじめ、JR 横浜タワー内のアトリウムや屋上広場「うみそらデッキ」、JR 横浜駅南改札内「SOUTH COURT」といったイベントスペースのトータル管理・運営などを通じて、JR 東日本グループ一体となって JR 横浜駅のイメージ向上および、駅周辺エリアの活性化に取り組んでいます。

【エリア内 JR 東日本グループの施設】



- ①ルミネ横浜
- ②JR 横浜駅(エキュートエディション横浜、駅構内店舗)
- ③JR 横浜タワー(ニューマン横浜、シアル横浜、STATION SWITCH)
- ④JR 横浜鶴屋町ビル(シアル横浜アネックス、
JR 東日本ホテルメッツ 横浜、ジェクサー・フィットネス&スパ横浜)

【会 員】

東日本旅客鉄道(株)、(株)ルミネ、(株)横浜ステーションビル、(株)JR東日本ビルディング、日本ホテル(株)、

(株)JR 東日本クロスステーション、JR 東日本スポーツ(株)、(株)ジェイアール東日本企画、(株)JR 東日本環境アクセス(計 9 社)